

いびがわばし  
**揖斐川橋**

所在地	大垣市新開町～安八町西結 (揖斐川架橋)
竣工年	明治18・19年製 明治20年 鉄道橋として供用開始
経緯	大正2年 道路橋へ転用 (県道) 昭和63年 市道移管 平成12年 車両通行止め 歩行者・自転車・自動二輪車 通行可
説明	現存最古の英国式 200 呎ラス
構造形式規模等	錬鉄製ダブルワーレントラス (英国製、ピン結合) 橋長 321.7m 支間長 63.398m × 5連 橋台 円形ウェル2基 (煉瓦製) 橋脚 煉瓦製
土木遺産としての特徴	設計 英国人技師ポーナル、製作 パテントシャフト社 (英) 現存最古の英国式 200 呎ラス、東海道線初代橋で唯一現存 土木学会 日本の近代土木遺産 2,800選のAランク (約400) に選ばれている。

